

日本天文学会 1991 年 秋季年会 プログラム

月 日 1991 年 10 月 15 日 (火)~18 日 (金)

場 所 水戸市 水戸市民会館 〒301 水戸市中央 1-4-1
臨時電話 0292-28-2625

		午 前				午 後							講演 番号	
		9:15	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7		
月 日	会場	分 野				分 野								
10月15日 (火)	A	×				×	星間現象				公開講演会 (17:00~18:30) (別会場)			A 1-25
	B	×					銀河・銀河団							B 1-25
10月16日 (水)	A	星間現象			学内 金地 留学 委員	観測機器・情報処理				×			A 26-67	
	B	銀河・銀河団				宇宙論				×			B 26-66	
10月17日 (木)	A	観測機器・情報処理			評 議 員 会	観測機器・ 情報処理		デ バ イ ス タ ー シ ョ ン	機器情報, 力 学		懇親会 (別会場)		A 68-107	
	B	恒 星				恒 星			恒 星				B 67-106	
10月18日 (金)	A	位置天文学 太陽			理 事 会	太 陽			×			A 108-148		
	B	恒 星				銀河系, 太陽系			×			B 107-144		

A会場: ホール B会場: 3階大会議室 ×: 使用しない時間帯

1. 会期は4日間で、第1日目(10月15日(火))は、午後1時から、第2~4日目は午前9時15分からとなります。また昼食時以外の休憩は、午後1回づつとすることにしました。
2. 講演割当時間は7分です。
3. ポスターセッションの発表は、3階展示室で行います。このセッションへの参加数は23で、該当する方へは案内書を送りました。なお第3日目午後3時30分からポスター講演のためのディスカッション用時間帯を設けました。
4. Post-deadline papers はポスター発表とさせていただきます。
5. スライドは透視した時に正しい上下関係になるようにして、その手前側上方に講演番号と氏名、映写順の番号を書き、下縁に5mm位の赤線をつけて下さい。ビラは用いず、スライドまたはオーバーヘッドプロジェクターをご利用下さい。
6. 懇親会は、第3日目、午後6時から三の丸ホテルで行います。
7. 公開講演会を第1日目午後5時から常陽藝文センターで開催します。
講師(演題): 東京大学理学部助教授、牧島一夫(大気圏外からの宇宙観測)

会場 A (ホ - ル)

第 1 日 10 月 15 日 (火) 午後 1 時より 会場 A

(星間現象)

- A 1 A NEW H-Beta AND (Ca T+P12) CCD PHOTOMETRY FOR DETERMINING DISTANCE OF NEARBY INTERSTELLAR CLOUDS: T. Djameluddin and M. Saito (京大理)
- A 2 Structure of the Chamaeleon Infrared Nebula: 仲野 誠 (大分大), P. J. McGregor (MSSSO), A. R. Hyland (ADFA)
- A 3 45 m 鏡によるオリオン座分子雲サーベイ (V): 梅本智文¹, 立松健一¹, 平野尚美², 亀谷 收³, 長谷川哲夫⁴, 林 正彦⁴, 岩田隆浩⁵, 海部宣男⁶, 三上人巳⁷, 村田泰宏⁴, 仲野 誠⁸, 中野武宣¹, 大橋永芳^{1,7}, 砂田和良⁴, 高羽 浩⁵, 山本 智⁷ (¹国立天文台野辺山, ²一橋大, ³国立天文台水沢, ⁴東大理, ⁵通信総研, ⁶国立天文台, ⁷名大理, ⁸大分大)
- A 4 オリオン KL Hot Core の構造と運動: 村田泰宏, 川辺良平, 石黒正人, 森田耕一郎 (国立天文台野辺山), 長谷川哲夫, 林 正彦 (東大理), 春日 隆 (法政大工)
- A 5 おうし座領域における分子雲乱流の観測: 北村良夷 (鹿大医短), 砂田和良, 林 正彦, 長谷川哲夫 (東大理)
- A 6 L1551 分子双極流の水素分子輝線: 山下卓也 (国立天文台), 田村元秀 (JPL/Caltech)
- A 7 双極星雲 OH231.8 の CS 干渉計観測: 春日 隆 (法政大工), 小倉勝男 (国学院大), 柴田克典 (国立天文台野辺山), 干渉計グループ
- A 8 L1157 分子流における CH₃OH の高分解能観測: 三上人巳¹, 梅本智文², 山本 智¹, 齋藤修二¹ (¹名大理, ²国立天文台野辺山)
- A 9 ハービッグ・ハロー天体の分光データの解析 (3) Carina 領域: 小倉勝男 (国学院大)
- A10 B1 における SiO の分布: 山本 智, 三上人巳 (名大理), 齋藤修二 (分子研), 海部宣男 (国立天文台), 大石雅寿, 川口建太郎 (国立天文台野辺山)
- A11 星間分子としての含りん分子: 齋藤修二 (分子研, 名大理), 山本 智 (名大理)
- A12 Bright-Rimmed Cloud の CO (J=3-2) 観測: 杉谷光司 (名市大教養), 福井康雄 (名大理), G. Winnewisser (ケルン大)
- A13 南天ブライトリム天体の分子流探査: 岩田隆浩¹, 長濱智生², 福井康雄², 杉谷光司³, 小倉勝男⁴ (¹通信総研鹿島, ²名大理, ³名市大, ⁴国学院大)

休 憩

- A14 W49A 分子雲コアの SiO 観測: 宮脇亮介 (福岡教育大), 林 正彦, 長谷川哲夫 (東大理)
- A15 ミリ波干渉計による DR21 ガスディスクの CS (J=1-0) 観測: 平野尚美¹, 亀谷 收², 川辺良平³, 海部宣男⁴, 北村良夷⁵, 鄭 玄洙⁶ (¹一橋大, ²国立天文台水沢, ³国立天文台野辺山, ⁴国立天文台, ⁵鹿大医短, ⁶大徳天文台)
- A16 T タウリ型星の 2 ミリ波帯連続波観測: 松尾 宏¹, 大橋永芳¹, 林 正彦² (¹国立天文台野辺山, ²東大理)
- A17 T Tau 型星における水蒸気: 斯波尚志¹, 佐藤修二², 小林行泰¹, 山下卓也², 高見英樹³ (¹東大理, ²国立天文台, ³通信総研)
- A18 高励起惑星状星雲, NGC 3242 の膨張運動解析: 矢動丸 泰, 田村真一 (東北大)
- A19 Orion 巨大分子雲 CO (J=2-1) 大規模サーベイ (3): 阪本成一, 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 岡 朋治, 望月賢治 (東大理)
- A20 60 cm 望遠鏡による銀河中心領域の CO (J=2-1) 輝線広域観測 (Part II): 岡 朋治, 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 阪本成一, 望月賢治 (東大理)
- A21 CO (J=2-1) 輝線による銀河面サーベイ: 林 正彦, 長谷川哲夫, 半田利弘, 阪本成一 (東大理)
- A22 遠赤外 [C II] 広域サーベイ: 実験の概要: 奥田治之¹, 中川貴雄¹, 山下由香利^{1,2}, 土井靖生^{1,2}, 矢島信之¹, 芝井 広¹, 成田正直¹, 西村徹朗³, F. J. Low³ (¹宇宙研, ²東大理, ³アリゾナ大)
- A23 ρ -Oph 領域からの [C II] 158 μ m 放射: 山下由香利 (東大理), 中川貴雄, 奥田治之, 矢島信之 (宇宙研), 土井靖生 (東大理), 西村徹朗, F. J. Low (アリゾナ大), 芝井 広 (宇宙研)
- A24 白鳥座 X 領域 [C II] サーベイ: 土井靖生^{1,2}, 中川貴雄¹, 山下由香利^{1,2}, 奥田治之¹, 矢島信之¹, 芝井 広¹, 西村徹朗³, F. J. Low³ (¹宇宙研, ²東大理, ³アリゾナ大)
- A25 遠赤外 [C II] 広域サーベイ: 銀河面観測: 中川貴雄¹, 山下由香利^{1,2}, 土井靖生^{1,2}, 奥田治之¹, 矢島信之¹, 芝井 広¹, 西村徹朗³, F. J. Low³ (¹宇宙研, ²東大理, ³アリゾナ大)

第 2 日 10 月 16 日 (水) 午前 9 時 15 分より 会場 A

- A26 銀河中心領域の近赤外線サーベイ観測: 上野孝宗, 笠羽康正, 三上良孝, 鳥居泰男, 成相恭二, 佐藤修二, 海部宣男 (国立天文台), 市川 隆 (東大理), 柳澤顕史 (東京学芸大), 伊藤昌尚 (日立製作所)
- A27 衛星「ぎんが」による oxygen-rich SNR の X 線観測: 朝岡育子, 小山勝二 (京大理), J. P. Hughes (Harvard-

会場 B (3 階大会議室)

第 1 日 10 月 15 日 (火) 午後 1 時より 会場 B

(銀河・銀河団)

- B 1 近傍銀河 NGC 4945 の X 線観測: 岩澤一司, 栗木久光 (名大理), 小山勝二 (京大理), 牧島一夫, 大橋隆哉, 鶴 剛 (東大理), 中井直正 (国立天文台野辺山), 他「ぎんが」チーム
- B 2 セイファート銀河 NGC 5506 の X 線観測で得られた濃いガスの証拠: Bond, Ian, 山内 誠, 松岡 勝 (理研), 『ぎんが』チーム
- B 3 活動銀河核からの X 線放射の時間変動: 林田 清, 宮本重徳, 北本俊二 (阪大理), 他「ぎんが」チーム
- B 4 BL Lac 天体 H0323+022 の X 線観測と変動のタイムスケール: 香村芳樹, 大橋隆哉, 牧島一夫 (東大理), 横野文命, 紀伊恒男 (宇宙研)
- B 5 かみのけ座及びペルセウス座銀河団の X 線観測: 鎌田祐一, 田原 譲 (名大理), 小山勝二 (京大理)
- B 6 Blazars の電波と X 線の同時観測 (II): 岡保利佳子 (埼玉大・理研), 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育), 井上 允 (国立天文台野辺山), 河合誠之 (理研), W. Brinkmann (M.P.E.)
- B 7 コンパクト電波源の VLBI マッピング: 亀野誠二 (東大理), 井上 允, 宮地竹史 (国立天文台野辺山), T. Venturi (Bologna), 南 仁東 (北京天文台・国立天文台野辺山), 高羽 浩 (通信総研)
- B 8 核優勢電波源の完全標本の 10 GHz 偏波観測: 奥平敦也 (京大理), 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育), 井上 允 (国立天文台野辺山)
- B 9 系外銀河における ^{12}CO ($J=1-0$) の動径分布: 濤崎智佳, 塩谷泰広, 谷口義明 (東北大)
- B10 Edge-on 銀河 NGC 891 で発見された分子ガスの刺構造: 半田利弘, 祖父江義明 (東大理), 池内 了 (国立天文台), 川辺良平, 石附澄夫 (国立天文台野辺山), C. A. Norman (Space Telescope Science Institute)
- B11 近赤外光による NGC 891 の撮像観測: 青木哲郎, 廣本宜久, 高見英樹, 岡村定矩* (通信総研, *東大理)
- B12 広視野赤外線カメラによる近傍銀河の撮像観測: 市川 隆 (東大理), 上野宗孝, 笠羽康正, 佐藤修二, 三上良孝, 鳥居泰男 (国立天文台), 柳澤顕史 (東京学芸大), 伊藤昌尚 (日立製作所)
- B13 INFRARED CLASSIFICATION OF EMISSION-LINE GALAXIES: 谷口義明 (東北大), 毛利英明 (気象研)

休 憩

- B14 銀河面輝度の内部吸収効果: 小平桂一 (国立天文台), 土居守, 嶋作一大 (東大理)
- B15 楕円銀河の等輝度線の解析: 安田大輔, 佐藤毅彦, 川端 潔 (東理大理)
- B16 KUG の追究観測 (6) 矮銀河の測光分光観測: 前原英夫 (国立天文台岡山), 浜部 勝 (東大理), 綾仁一哉 (国立天文台)
- B17 IC10 の $\text{H}\alpha$ 速度場: 落下する HI 雲との衝突による星形成?: 齋藤 衛¹, 佐々木 実², 山田 亨¹, 太田耕司³ (¹京大理, ²下関市立大, ³国立天文台)
- B18 Tully-Fisher distance を用いて求める Ia 型超新星の最大光度: 嶋作一大 (東大理), 福来正孝 (京大理)
- B19 蛇遣い座銀河団 I 構成銀河の IRAS 同定: 長谷川 隆 (東大理), 若松謙一 (岐阜大)
- B20 銀河面における宇宙の大規模構造の接続 I: 山田 亨, 高田唯史, Thomas Djameladdin, 富田晃彦, 青木賢太郎, 武田 秋, 齋藤 衛 (京大理)
- B21 ブラックホールへの磁気流体の球対称的降着: 横沢正芳 (茨城大理)
- B22 銀河中心部への急激なガス供給プロセス: 和田桂一, 羽部朝男 (北大)
- B23 Bar ポテンシャル中の自己重力ガスの運動 II: 福長正考, 土佐 誠 (東北大)
- B24 相互作用するガス楕円体間の角運動量輸送: 立松芳典, 藤本光昭 (名大理)
- B25 球状星団形成の環境: 隈井泰樹, 藤本光昭 (名大理)

第 2 日 10 月 16 日 (水) 午前 9 時 15 分より 会場 B

- B26 渦状銀河における星形成率と連続電波との関連: 塩谷泰広, 千葉証司 (東北大)
- B27 大マゼラン雲の化学進化: 辻本拓司, 野本憲一 (東大理)
- B28 恒星円盤の大局不安定モードの形成メカニズム: 穂積俊輔 (滋賀大教育), 藤原隆男 (京都市芸大)

会場 A (ホール)

Smithsonian (CfA)

- A28 シンクロトロン輻射源としての相対論的無衝突衝撃波による粒子の加速および衝撃波の構造: 星野真弘 (理研)
- A29 原始太陽系回転円盤の不安定性: 木口勝義 (近大理工研), 成田真二 (同大工), 林 忠四郎 (京大)
- A30 Accretion Disk の傾圧不安定性: 成田真二 (同大工), 木口勝義 (近大理工総研), 林 忠四郎
- A31 原始星降着円盤における磁場の振舞: 中野武宣 (国立天文台野辺山)
- A32 形成中の星の磁気圏と磁気降着円盤の相互作用 III: 広瀬重信, 内田 豊 (東大理), 柴田一成 (愛教大), 松元亮治 (千葉大), 佐藤哲也 (核融合研)
- A33 回転する磁気雲の自己重力崩壊: 藤堂 泰, 濱武久司, 内田 豊 (東大理)
- A34 フィラメント状ガス雲のキンク不安定性: 中村文隆, 花輪知幸 (名大理), 中野武宣 (国立天文台野辺山)
- A35 Stellar Wind Bubble における星間磁場の影響: 加藤光也, 坂下志郎 (北大理)
- A36 磁場を持ったスーパーバブルの進化: 富阪幸治 (新潟大教育)
- A37 パーカー不安定による大規模構造の形成: 松元亮治 (千葉大), 柴田一成 (愛教大), 花輪知幸 (名大), 田島俊樹 (テキサス大)
- A38 パーカー不安定性: 磁気シアアの効果: 花輪知幸 (名大理), 柴田一成 (愛教大), 松元亮治 (千葉大)
- A39 乱流媒質中の衝撃波の伝播 (2): 木村俊哉, 土佐 誠 (東北大理)
- A40 減速衝撃波の不安定性の非線形解析: 吉田龍生, 羽部朝男 (北大理)
- A41 減速衝撃波不安定による構造形成: 西 亮一 (京大理)

第2日 10月16日(水) 午後1時より 会場 A

(観測機器・情報処理)

- A42 廉価版 GPS 受信機を用いたタイムトランスファー: 山崎利孝, 藤本真克 (国立天文台), 池田平輔, 宗円清明, 武地美明 (古野電気)
- A43 100 m レーザー干渉計重力波アンテナ (TENKO-100) 建設計画 (I): 河島信樹 (宇宙研), 横田俊昭 (愛媛大), 上窪田紀彦, 小川雄二郎, 浅見 明 (高エ研)
- A44 FP 型レーザー干渉計プロトタイプ (II): 藤本真克, 大橋正健, 山崎利孝, 久保浩一, 福嶋美津広 (国立天文台)
- A45 大気中の酸素輝線の X 線観測に与える影響: 山内茂雄, 國枝秀世 (名大理), P. J. Serlemitsos (GSFC)
- A46 井戸型フォスウィッチ検出器のパフォーマンス: 郡司修一, 釜江常好, 高橋忠幸, 田中光明, 田村忠久, 宮崎聡, 関本裕太郎, 山岡典子 (東大理), 能町正治 (高エ研), 山上隆正 (宇宙研), 村上浩之 (立教理)
- A47 薄板多重 X 線望遠鏡開発の現状: 國枝秀世, 田原 譲 (名大理), Peter J. Serlemitsos (NASA/GSFC)
- A48 次世代薄板多重 X 線望遠鏡の開発 (II): 栗山富成, 先間康博, 田原 譲 (名大理)
- A49 気球観測用遠赤外検出器の開発: 望月賢治^{1,2}, 中川貴雄², 山下由香利^{1,2}, 土井靖生^{1,2}, 奥田治之², 矢島信之², 芝井 広³, 広本宣久³ (1東大理, 2宇宙研, 3通信総研)
- A50 IRTS 搭載遠赤外線マップパー (FILM): 検出限界の評価: 油井正生 (東大理), 芝井 広, 奥田治之, 中川貴雄 (宇宙研), 松原英雄 (名大理), 他 IRTS グループ
- A51 IRTS 搭載用遠赤外フォトメーター (FIRP): 平尾孝憲, 佐藤紳司, 渡部豊喜, 松本敏雄 (名大理), M. Freund, A. Lange, S. Larkin (U.C. Berkeley), 他 IRTS グループ
- A52 IRTS 搭載中間赤外分光器 (MIRS) I: 尾中 敬, 田辺俊彦 (東大理), T. L. Roellig, T. J. McMahon (NASA AMES RC) 他, IRTS グループ
- A53 IRTS 搭載近赤外分光器 (NIRS): 村上 浩 (宇宙研), 松本敏男, 野口邦男, 野田 学, 松浦周二 (名大理), 他 IRTS グループ
- A54 磁気蒸気光学フィルターの太陽観測への応用: 宮崎英昭, 桜井 隆, 一本 潔, 岡本富三 (国立天文台), 川上肇 (MSSL), 坂田 朗, 和田節子 (電通大)

休 憩

- A55 すばる望遠鏡の主鏡の製法: 野口 猛, 家 正則, 小平桂一, すばるチーム, 三神 泉* (国立天文台, *三菱電機)
- A56 JNLT 主鏡部分鏡材の最適配置: 佐々木亜紀, 三神 泉, 浅里幸起 (三菱電機), 家 正則 (国立天文台)
- A57 鏡面検査装置の形状推定精度に関する検討: 田知真毅, 三神 泉, 佐々木亜紀 (三菱電機), 山下泰正 (国立天文台), 田中 済 (東大理)
- A58 ゾーンプレート干渉計による 62 cm 凹面球面鏡の形状測定: 川本洋志*, 鳥居泰男**, 本田捷夫*, 家 正則** (*東京工大, **国立天文台)

会場 B (3 階大会議室)

- B29 降着円盤内縁の脈動不安定と AGN の時間変動: 本間文雄¹, 松元亮治², 加藤正二¹ (¹京大理, ²千葉大教養)
- B30 Ram 庄による銀河間ガス雲の降着 I. 楢田銀河と AGN 励起: 若松謙一 (岐阜大), 祖父江義明 (東大理)
- B31 Ram 庄による銀河間ガス雲の降着 II. 渦状銀河とスターバースト励起: 祖父江義明 (東大理), 若松謙一 (岐阜大)
- B32 巨大分子雲による銀河ディスクの星の散乱: 小久保英一郎, 井田 茂 (東大教養)
- B33 三軸不等恒星系における運動の積分: 土屋俊夫, 郷田直輝, 山田良透 (京大理)
- B34 GRAPE-3 による N 体数値実験: 奥村幸子, 牧野淳一郎, 戎崎俊一, 伊藤智義, 福重俊幸, 杉本大一郎 (東大教養)
- B35 銀河コア内のブラックホール連星系の進化: 福重俊幸, 戎崎俊一, 牧野淳一郎 (東大教養)
- B36 Survival of Two Cores Through the Head-on Merging: 船渡陽子, 牧野淳一郎, 戎崎俊一 (東大教養)
- B37 ハイブリッドコードによる銀河団の衝突の数値シミュレーション: 服部 誠 (理研)
- B38 1 次元 Violent Relaxation について: 野桜俊也 (北大理)
- B39 無衝突恒星系のシミュレーション: Trace Back 法 II: 藤原隆男 (京都市立芸大)
- B40 無衝突自己重力系の緩和過程 II: 山城稔暢, 郷田直輝 (京大理)
- B41 一般化変分原理の恒星系 Fokker-Planck 方程式への応用: 高橋広治, 稲垣省五 (京大理)
- B42 Lagrangian and Energy Principles for Barotropic Flows: 稲垣省五 (京大理), Joseph Katz (国立天文台)

第 2 日 10 月 16 日 (水) 午後 1 時より 会場 B

(宇宙論)

- B43 Wesson の 6 次元宇宙モデルの真空解: 福井尚生 (獨協大教養)
- B44 拡張された相対論的宇宙論: 加富治行 (無所属)
- B45 Cosmic No-Hair Theorem in Power-law Inflation: 北田雄一 (東大理), 前田恵一 (早大理工)
- B46 Numerical Study of Cosmic No Hair Conjecture: 中尾憲一 (京大理)
- B47 Extended Inflation での密度揺らぎ: 中村信一, 細谷暁夫 (東工大理)
- B48 非一様なインフレーション宇宙の進化: 降旗康彦, 佐藤勝彦 (東大理)
- B49 早期宇宙における空間曲率非一様性: 冨田憲二 (京大基研宇治)
- B50 空間曲率非一様性と密度ゆらぎの発展: 杉山 直 (東大理), 冨田憲二 (京大基研宇治)
- B51 Broken O(N) モデルによる宇宙壁系の成長: 窪谷浩人 (京大理), 石原秀樹 (京大教養), 南部保貞 (東工大理)
- B52 Is Galaxy Formation Possible by Domain Walls?: 梅村雅之 (国立天文台)
- B53 膨張宇宙における texture の進化: 長澤倫康, 佐藤勝彦 (東大理)
- B54 スカラー場を用いた銀河形成論: 高山茂伸, 南部保貞, 中村信一 (東工大理)
- B55 膨張宇宙における密度ゆらぎの非線形成長の法則性: 郷田直輝 (京大理), A. L. Melott, S. F. Shandarin (カンザス大)

休 憩

- B56 現実的な密度揺らぎからの銀河形成: 吉岡 諭 (東京商船大)
- B57 Interaction between Lyman α Clouds and Wind II: 村上 泉 (東大理), 池内 了 (国立天文台)
- B58 QSO の吸収線系のイオン化状態: 傳田紀代美 (東大理), 池内 了 (国立天文台)
- B59 Cold dark matter model における銀河ハローの形成: 杉之原立史 (東大理), 須藤 靖 (京大基研宇治)
- B60 Fair Sample Hypothesis and Estimates of Two-point Correlation Functions: 伊藤 誠 (京大基研宇治), 杉之原立史 (東大理), 須藤 靖 (京大基研宇治)
- B61 カウントインセル法を用いた宇宙の構造の定量化: 上田晴彦, 伊藤 誠, 須藤 靖 (京大基研宇治)

会場 A (ホ - ル)

- A59 すばる望遠鏡の山頂サイトレイアウト: 宮下晁彦, すばる計画推進室 (国立天文台)
 A60 数値風洞実験による JNLT ドーム内の気流解析: 長沢幹夫, 坪井一洋, 宮腰佳代 (計算流体研), 海部宣男, 安藤裕康, 宮下晁彦, 唐牛 宏 (国立天文台)
 A61 ドーム内散乱光の影響——まぶしいグレートウォール?——: 家 正則, 小平桂一, 山下泰正 (国立天文台)
 A62 WIDE SPECTRAL COVERAGE OF SUBARU TELESCOPE: 林 左絵子, すばる計画推進室 (国立天文台), 岡村定矩 (東大理), 芝井 広 (宇宙研)
 A63 赤外用主焦点補正系: 成相恭二 (国立天文台)
 A64 ドームシーイングモニターの試作とテスト観測: 西原英治, 早野 裕, 高遠徳尚, 多賀正敏 (東大理), 家 正則, 宮下晁彦, 野口 猛 (国立天文台), 岡田隆史 (国立天文台岡山), 小島正順 (熊谷高校)
 A65 イメージスタビライザによる光波面補償実験: 早野 裕¹, 西川 淳², 高遠徳尚¹, 家 正則³ (¹東大理, ²通信総研平磯, ³国立天文台)
 A66 アダプティブ光学の開発 I: 高見英樹, 片堅宏一, 廣本宜久, 板部敏和, 有賀 規 (通信総研)
 A67 大型モザイク CCD の開発とその性能: 関口真木 (国立天文台), 土居 守, 柏川伸成, 岡村定矩, 木曾観測所 (東大理)

第 3 日 10 月 17 日 (木) 午前 9 時 15 分より 会場 A

- A68 広視野サーベイ専用赤外線カメラシステム: 笠羽康正, 上野宗孝, 佐藤修二 (国立天文台), 市川 隆 (東大理)
 A69 光学天体干渉計の観測実験 IV: 佐藤弘一, 久慈清助 (国立天文台)
 A70 OH 夜光の高分解能観測. II: 舞原俊憲, 岩室史英 (京大理), 山下卓也 (国立天文台)
 A71 188 cm 望遠鏡制御システムへの安全マップの組み込み: 清水康広, 佐々木敏由紀, 渡辺悦二, 湯谷正美 (国立天文台岡山)
 A72 188 cm 望遠鏡観測システムのネットワーク化: 佐々木敏由紀 (国立天文台岡山), 小杉城治, 加藤太一 (京大理)
 A73 OAO-SNG. I. 開発研究概要と進捗状況: 大谷 浩, 小杉城治, 吉田道利, 佐々木 実^{*}, 馬場 歩, 佐々木敏由紀⁺, 清水康広⁺, 小矢野 久⁺ (京大理, ^{*}下関市立大, ⁺国立天文台岡山)
 A74 OAO-SNG. II. データ取得システムソフト: 小杉城治, 吉田道利, 大谷 浩, 佐々木 実^{*1}, 馬場 歩, 清水康広^{*2}, 佐々木敏由紀^{*2}, 小矢野 久^{*2} (京大理, ^{*1}下関市立大, ^{*2}国立天文台岡山)
 A75 OAO-SNG. III. データ取得システム性能: 吉田道利, 小杉城治, 大谷 浩, 佐々木 実^{*1}, 馬場 歩, 小矢野 久^{*2}, 佐々木敏由紀^{*2}, 清水康広^{*2} (京大理, ^{*1}下関市立大, ^{*2}国立天文台岡山)
 A76 Lucy アルゴリズムを用いた Blind Deconvolution 法の検討: 圓谷文明, 三浦則明, 馬場直志 (北大工)
 A77 Ewald 和専用計算機の開発: 戎崎俊一, 福重俊幸, 牧野淳一郎, 杉本大一郎 (東大教養)
 A78 重力多体問題専用計算機 GRAPE-2A: 伊藤智義, 牧野淳一郎, 戎崎俊一, 奥村幸子, 杉本大一郎 (東大教養)
 A79 大規模差分法計算専用計算機 DREAM: 牧野淳一郎, 大野洋介, 奥村幸子, 戎崎俊一 (東大教養), 近田義広 (国立天文台野辺山)
 A80 電波ヘリオグラフ用アンテナ据付・精密調整: 篠原徳之, 鷹野敏明, 鳥居近吉, 関口英昭 (国立天文台野辺山), 三島研二 (パスコ), 森川洋行, 北原康弘 (赤阪鐵工所)
 A81 電波ヘリオグラフ受信機系: 武士俣健, 西尾正則, 中島 弘, 川島 進, 花岡庸一郎, 鳥居近吉, 鷹野敏明, 柴崎清登, 塩見靖彦, 沢 正樹, 関口英昭, 篠原徳之, 鯨目信三 (国立天文台野辺山), 入交芳久 (東大理), 高林利夫, 西川勝彦, 二川憲夫 (日本電気)
 A82 電波ヘリオグラフの信号伝送系の概要: 鳥居近吉, 西尾正則, 中島 弘, 関口英昭, 川島 進 (国立天文台野辺山), 田中 茂, 寺沢良明, 対馬兼勝, 高木菊男 (住友電工)
 A83 電波ヘリオグラフ制御システムの概要: 川島 進, 西尾正則, 鷹野敏明, 武士俣健, 花岡庸一郎 (国立天文台野辺山), 能美 仁, 本田耕三 (日本電気), 北原康弘, 原川和宏 (赤阪鐵工所)
 A84 VSOP 観測衛星の製作: 平林 久, 広沢春任, 小林秀行, 西村敏充, 市川 勉, 三浦公亮, 高野 志, 井上浩三郎, 山本善一, 小野田淳次郎, 斉藤宏文, 二宮敬虔, 大西 晃, 他 (宇宙研), 近田義広, 川口則幸, 森本雅樹, 井上 允, 他 (国立天文台), 春日 隆 (法政大工), 折井 武, 中川栄治, 他 (日本電気), 三好一雄, 片木孝至, 他 (三菱電機), 他

第 3 日 10 月 17 日 (木) 午後 1 時より 会場 A

- A85 白田 64 m アンテナによる 22 GHz 帯観測: 藤沢健太, 平林 久, 小林秀行, 西堀俊幸, 大嶋由実, 渡辺淳子 (宇宙研), 仰木一孝, 宇宙電波グループ (日本通信機)
 A86 白田 VLBI 観測システムの位相安定度試験: 西堀俊幸 (上智大理工), 平林 久, 小林秀行, 山田三男 (宇宙

会場 B (3階大会議室)

- B62 銀河の Number Count における Clustering の影響: 山下和之 (京大理)
 B63 AGN による宇宙の再電離: 寺澤信雄 (理研)
 B64 宇宙再加熱が背景放射に及ぼす影響: 千葉尚志, 杉山 直, 佐藤勝彦 (東大理)
 B65 2 型セイファート銀河の宇宙 X 線背景放射に与える影響: 栗木久光 (名大理), 小山勝二 (京大理)
 B66 K バンドスターカウントによる銀河光の観測: 度會英教, 野田 学, 松原英雄, 松本敏雄 (名大理), 上野宗孝, 伊藤昌尚, 佐藤修二 (国立天文台)

第 3 日 10 月 17 日 (木) 午前 9 時 15 分より 会場 B

(恒 星)

- B67 低質量 X 線連星 EXO 0748-676 の連星周期変動: 浅井和美, 長瀬文昭, 堂谷忠靖 (宇宙研), 他「ぎんが」チーム
 B68 小質量連星 X 線源の X 線スペクトルの“吸収”構造: 満田和久, 海老沢研, 青木貴史, Lorein Breedon, Tahir Yaqoob (宇宙研)
 B69 “ぎんが”による X1957+11 の観測: 海老沢 研, Tahir Yaqoob, 満田和久, “ぎんが”チーム
 B70 Cyg X-2 の QPO と persistent emission: 堂谷忠靖, 満田和久 (宇宙研), 他「ぎんが」チーム
 B71 ブラックホール候補 X 線星よりの X 線の時間変化の規則性: 宮本重徳, 北本俊二, 伊賀小弓里, 根来 均, 寺田健太郎 (阪大理)
 B72 CYGX-1 からの X 線の時間変動 (2): 根来 均, 宮本重徳, 北本俊二, 林田 清 (阪大理)
 B73 「ぎんが」による X 線新星 GS1124-68 の観測: 小川美奈 (立教大理), 海老沢研, 堂谷忠靖, 滝沢 守, 田中靖郎 (宇宙研), 他「ぎんが」チーム
 B74 「ぎんが」搭載の全天モニターによる Nova Musca の観測: 北本俊二, 常深 博, 宮本重徳, 林田 清, 渡部浩章 (阪大理)
 B75 X1916-05 からの X 線バーストと X 線ディップの相関: 吉田健二, 井上 一 (宇宙研)
 B76 X 線パルサー X0115+634 の位相別解析: 中村 浩 (埼玉大・理研), 吉田篤正 (理研), 長瀬文昭 (宇宙研), 牧島一夫, 三原建弘 (東大理), 田村啓輔 (阪大理), 他「ぎんが」チーム
 B77 1991 年の X 線連星パルサー X0115+634 のアウトバーストの観測: 田村啓輔, 常深 博 (阪大理), 他「ぎんが」チーム
 B78 宇宙科学研究所臼田でのパルサータイミング観測: 平尾淳一, 河島信樹, 平林 久, 西村敏充 (宇宙研)
 B79 『ぎんが』によるパルサーの探索: 青木貴史, 伊藤真之, 堂谷忠靖, 満田和久 (宇宙研)
 B80 ガンマ線バーストの軟 X 線輻射: 小賀坂康志, 村上敏夫, 西村 純, 山中正行 (宇宙研), 吉田篤正 (理研), 他「ぎんが」GBD チーム
 B81 アダマール望遠鏡による X 線天体の観測: 矢治健太郎, 戎崎俊一, 奥村幸子, 牧野淳一郎 (東大教養), 北本俊二 (阪大理)
 B82 炭素星 IRC+10216 における Si の化学~SiC2 の空間分布~: 高野秀路 (国立天文台野辺山), 山本 智 (名大理), 斎藤修二 (分子研)
 B83 炭素星 S Sct の星周ガスの分布: 山村一誠, 上條文夫 (東大理), 出口修至 (国立天文台野辺山), 泉浦秀行 (東京学芸大)

第 3 日 10 月 17 日 (木) 午後 1 時より 会場 B

- B84 惑星状星雲の原始星としての F 型超巨星の分光解析: 田村眞一, Y. Zalewski, 竹内 峯 (東北大理)
 B85 惑星状星雲 NGC 7027 における HCO⁺ トーラス: 出口修至 (国立天文台野辺山), 山村一誠 (東大理)
 B86 M 型星の H₂O/SiO メーザ観測結果: 高羽 浩, 岩田隆浩 (通信総研鹿島), 三好 真 (東大理), 宮地竹史,

会場 A (ホール)

- 研, 大島由実, 藤沢健太 (東大理), 渡辺淳子 (東邦大理), 仰木一孝, 電波天文グループ (日本通信機)
- A87 水沢に設置する高精度アンテナの開発: 亀谷 收, 笹尾哲夫, 原 忠徳, 久慈清助, 佐藤克久, 鶴田誠逸, 浅利一善, 岩館健三郎, 阿部 茂, 河野宣之 (国立天文台水沢), 安田 茂 (東北大理), 森本雅樹, 川口則幸, 宮澤敬輔, 浮田信治 (国立天文台野辺山)
- A88 水沢 10 m アンテナの信号伝送系の特性: 佐藤克久, 原 忠徳 (国立天文台水沢), 安田 茂 (東北大理), 仰木一孝, 武井健寿 (日本通信機)
- A89 鹿兒島ミリ波 VLBI 局のサイト探し: 面高俊宏 (鹿兒島大), 春日 隆 (法政大), 北村良実, 田中 穰 (鹿兒島大), 川口則幸, 森本雅樹, 宮澤敬輔, 井上 允, 宮地竹史, 御子柴廣, 神沢富雄, 亀野誠二 (国立天文台野辺山), 笹尾哲夫, 藤下光身, 亀谷 收 (国立天文台水沢), 山岸邦夫 (宮崎大)
- A90 バースト法による高感度 VLBI 観測: 川口則幸 (国立天文台野辺山)
- A91 超広帯域 VLBI 用高速サンプラーの開発: 松本欣也 (電通大), 近田義広, 川口則幸 (国立天文台)
- A92 薄目をあけた FFT 大型アレイ: 中島潤一¹, 乙部英一郎¹, 遊馬邦之², 土屋 明⁴, 渡辺直企¹, 荒蒔義隆¹, 大師堂経明³ (¹早大理工, ²草加高校, ³早大教育, ⁴名鉄)
- A93 非エルゴートの信号電波源の効率的サーベイ方式の検討: 大師堂経明, 遊馬邦之*, 中島潤一, 乙部英一郎, 土屋 明, 渡辺直企, 荒蒔義隆, 小原啓義, 小松進一 (早大教育・理工, *草加高), 西畑一彦 (ソニー)
- A94 野辺山ミリ波干渉計における電波強度校正: 石附澄夫*, 高橋敏一, 森田耕一郎, 川辺良平, 石黒正人 (*東大理, 国立天文台野辺山)
- A95 電波ホログラフィー法による野辺山 10 m 鏡面精度測定: 服部邦彦, 高橋敏一, 森田耕一郎, 神沢富雄, 石黒正人 (国立天文台野辺山), 森田 徹, 石曾根孝之 (東洋大工)
- A96 多周波開口合成法のシミュレーション (2): 鈴木美都¹, 石黒正人², 森田耕一郎², 川辺良平² (¹東北大理, ²国立天文台野辺山)

休 憩

—ポスター・ディスカッション—

- A97 ミリ波ガン発振器の位相安定度測定: 齊藤和隆, 仰木一孝 (日本通信機), 川辺良平 (国立天文台野辺山)
- A98 チューナレス・ミキサマウントの性能: 砂田和良 (東大理), 稲谷順司, 川辺良平 (国立天文台野辺山)
- A99 サブミリ波サーベイ衛星計画: 坪井昌人, 稲谷順司, 松尾 宏, 久野成夫 (国立天文台野辺山), 林 正彦, 砂田和良, 奥村健市 (東大理)
- A100 スペースサブミリ波望遠鏡の光学系: 奥村健市 (東大理), 久野成夫, 松尾 宏, 稲谷順司, 坪井昌人 (国立天文台野辺山)
- A101 ボロメータアレイ観測システム: 久野成夫, 松尾 宏 (国立天文台野辺山), 水本好彦 (神戸大理)
- A102 レンズアンテナの電波天文学, 測地学への応用——プロトタイプ 1 m レンズアンテナの製作——: 白鳥 裕, 入交芳久, 越石英樹, 崔 容碩, 半田利弘, 阪本成一 (東大理), 近田義広, 浮田信治 (国立天文台野辺山), 面高俊宏 (鹿兒島大), 松本欣也 (電通大), 宮脇亮介 (福岡教育大)
- A103 60 cm サブミリ波望遠鏡 2 号機による南天 230 GHz サーベイ計画: 長谷川哲夫, 林 正彦, 半田利弘, 阪本成一 (東大理), R. Booth (Onsala Space Observatory), P. Shaver (ESO)
- A104 230 GHz 帯望遠鏡による成層圏オゾンの観測: 落合 啓, 堀江宏昭, 増子治信 (通信総研), 長谷川哲夫, 林 正彦 (東大理)

(天体力学)

- A105 木星の外側での 2:1 レゾナンス小惑星の軌道安定性: 渡辺憲昭 (千葉商大)
- A106 惑星運動の長期間計算: 中井 宏, 木下 宙 (国立天文台)
- A107 土星衛星の軌道要素改良 (1970, 71 年の衝): 畑中至純 (国立天文台)

第 4 日 10 月 18 日 (金) 午前 9 時 15 分より 会場 A

(位置天文学)

- A108 1930 年付近の極運動異常の解釈: 関口直甫 (横浜国立大)
- A109 チャンドラー揺動の短周期変動: 石川利昭, 若生康二郎 (国立天文台水沢)
- A110 新しい時刻系 TCB, TCG 及び TT: 福島登志夫 (国立天文台)
- A111 太平洋西縁 VLBI 実験報告 (I): 安田 茂 (東北大理), 亀谷 收, 河野宣之, 久慈清助, 佐藤克久, 笹尾哲夫, 藤下光身 (国立天文台水沢), 井上 允, 川口則幸, 御子柴廣, 宮地竹史, 森本雅樹 (国立天文台野辺山), 亀野誠二, 三好 真 (東大理), 松本欣也 (電通大), 岩田隆浩, 金子明弘, 小山泰弘, 高橋幸雄, 高羽 浩 (通信総研鹿島), 角野由夫, 高橋英利, 中村佐武六, 堀川規昭, 宮川智好 (信州大理), J. Clowacki, D. Coock,

会場 B (3階大会議室)

浮田信治 (NRO)

- B87 晩期型巨星の星周ダストと質量放出: 橋本 修 (成蹊大工)
- B88 SPECTROSCOPIC STUDY OF THE BINARY CENTRAL STAR OF PLANETARY NEBULA HFG 1: Hakim L. Malasan (東大理), Atsuma Yamasaki (防衛大)
- B89 食連星 HU Aur の多色測光観測: 中村泰久, 近東 昇¹, 鳴沢真也 (福島大教育, ¹県立南会津高)
- B90 KUV 543-209 連星系: 近藤雅之 (東大理)
- B91 '89年スペックル観測における分光連星第三天体の検出: 田中 剛, 新野幹典 (中央大理工), 磯部秀三, 野口本和, 乗本裕慈 (国立天文台), 大坪順次 (静岡大工), 馬場直志, 三浦則明 (北大工), J. Bohigas (メキシコ国立天文台)
- B92 HgMn 星 μ Lep の FeII 線強度比異常と磁場の検出: 比田井昌英, 寿岳 潤 (東海大文明研)
- B93 コバルト-水銀化学特異星: HR 1094: 定金晃三 (大阪教育大)
- B94 降着円盤風の2ゾーンモデル: 福江 純 (大阪教育大)
- B95 定常衝撃波を伴う降着流・星風の不安定性: 中山薫二 (京大理)
- B96 静時におけるブラックホールX線新星: 嶺重 慎 (茨城大理), 海老沢 研, 滝沢 守, 田中靖郎 (宇宙研), 林田 清, 北本俊二, 宮本重徳, 寺田健太郎 (阪大理)

休 憩

—ポスター・ディスカッション—

- B97 幾何学的に厚いトーラスからの輝線の形: 小鳥康史 (都立大理), 福江 純 (大阪教育大)
- B98 赤色超巨星の超新星爆発と物質混合: 蜂巢 泉, 松田卓也 (京大工), 野本憲一, 山岡 均 (東大理), 茂山俊和 (マックス・プランク研)
- B99 中性子星の熱的・力学的不安定性: 望月優子, 柴崎徳明 (立教大理)
- B100 超高密度物質におけるプラズマ・ニュートリノ過程: 武藤晴彦¹, 匹田 篤¹, 伊藤直紀¹, 神山泰治² (¹上智大理工, ²富士総研)
- B101 ホール電流の効果考えた中性子星の磁場の進化: 内藤統也, 小鳥康史 (都立大理)
- B102 相対論的電磁流体力学における線型摂動理論と Black hole 磁気圏への応用: 内田俊郎 (東北大理)
- B103 ブラックホール磁気圏における resistivity の効果: 高橋真聡, 広谷幸一, 富松 彰 (名大理)
- B104 ブラックホール磁気圏: アウト・フロー領域の解析: 新田伸也 (名大理)
- B105 カー・ニューマン・ブラックホールの熱力学的特性: 岡本 功 (国立天文台水沢), 齋木 修 (東北大理)
- B106 一般相対論的自己重力リングがブラックホールに及ぼす影響: 西田昌吾 (東大理), 江里口良治 (東大教養), A. Lanza (SISSA, Trieste)

第4日 10月18日(金) 午前9時15分より 会場 B

- B107 数値相対論における minimal distortion gauge の有効性: 柴田 大, 中尾憲一 (京大理), 中村卓史 (京大基研), 山本一博, 山中勇毅 (京大基研宇治)
- B108 連星中性子星の合体—Post-Newtonian 計算—: 大原謙一 (高エネ研), 中村卓史 (京大基研)
- B109 回転星におけるコアコラプスのダイナミクス: 山田章一, 佐藤勝彦 (東大理)
- B110 原始中性子星の進化と重力波放出: 観山正見 (国立天文台), 大月英明 (弘前大), 中村卓史 (京大基研)
- B111 PSR 1829-10 の惑星の起源: 中村卓史 (京大基研), ビラン (ヘブライ大)
- B112 Supernova Ejecta と Circumstellar Ring の衝突 (II): 鈴木知治¹, 茂山俊和², 野本憲一¹ (¹東大理, ²Max-Planck Institut für Astrophysik)

会場 A (ホー ル)

- D. Jauncy, G. McCulloch, R. Norris, J. Reynolds, T. Tzioumis, K. Wellington (豪 CSIRO), 梁 世光 (上海天文台), В. Алцунин (露・ASC)
- A112 地殻力学計画 (CDP) に基づく日米共同 VLBI 実験で得られた電波源情報: 高橋幸雄 (通信総研関東), 通信総研 VLBI グループ
- A113 アストロラーブの統一星表作成について: 真鍋盛二, 酒井 俐 (国立天文台水沢)
- A114 ACRS 星表の位置精度: 岡村定矩, 田中 亮 (東大理)
- A115 新しい位置星表 ACRS と PPM の比較, およびその精度: 相馬 充 (国立天文台)
- A116 自動光電子午環 (Tokyo PMC) 高度目盛環の目盛誤差の経年変化: 石崎秀晴, 鈴木駿策, 宮本昌典 (国立天文台)
- A117 CCD 子午環による 3C273 の光学位置: 吉澤正則, 鈴木駿策, 石崎秀晴 (国立天文台)
- A118 パルサーの Velocity-PP 関係と固有運動の視線方向成分: 藤下光身 (国立天文台水沢)
- (太 陽)
- A119 1991 年 7 月 11 日皆既日食の観測報告 (I): 黒河宏企, 北井礼三郎, 石浦清美 (京大理附属天文台)
- A120 1991 年 7 月 11 日皆既日食の観測報告 (II): 北井礼三郎, 黒河宏企, 石浦清美 (京大理附属天文台), 山崎順一 (NHK 放送技研)
- A121 1991 年 7 月 11 日の日食におけるコロナのスケッチ: 田鍋浩義, 青木光子, 井上 毅, 永田卓也, 柴山治子, 田鍋光子 (メキシコ, カボ・サン・ルーカス日食観測グループ)
- A122 7 月 11 日の皆既日食時に観測されたモヒカン列り型コロナ面: 斎藤尚生¹, 沼澤茂美², 小塚幸央¹, 赤祖父俊一³ (¹東大理, ²JPL, ³アラスカ大地物研)
- A123 1991 年メキシコ日食: コロナ中の低温物質を探る: 末松芳法, 西野洋平, 福島英雄 (国立天文台)
- A124 太陽フレア望遠鏡による NOAA 6659 (1991 年 6 月) のフレア活動の観測: 趙 昭旺 (雲南天文台), 桜井 隆, 一本 潔, 日江井栄二郎, 入江 誠, 篠田一也, 西野洋平, 宮下正邦 (国立天文台), マスプル・アイニ, 房 耕 (東大理)
- A125 1991 年 6 月 4 日の白色光フレア: 宮下正邦, 入江 誠, 日江井栄二郎 (国立天文台)

第 4 日 10 月 18 日 (金) 午後 1 時より 会場 A

- A126 太陽 H α フレアの自動検出システム: 田中伸幸, 末松芳法, 山口喜助 (国立天文台)
- A127 H α 3B フレアとモルトン波の観測: 山口喜助, 宮下正邦, 熊谷收可, 桜井 隆, 日江井栄二郎 (国立天文台)
- A128 太陽コロナの太陽周期変動: 日江井栄二郎, 乗鞍コロナ観測所所員 (国立天文台)
- A129 HeI 10830 と H α で見たコロナ・ホールと静穏領域における彩層構造: 西川 宝 (高山短大), 一本 潔, 房 耕 (国立天文台)
- A130 太陽フレア望遠鏡プロジェクト II. 磁場・速度場測定系: 桜井 隆, 一本 潔, 日江井栄二郎, 今井英樹, 岡本富三 (国立天文台), 李 挺, 何 鳳宝, 張 振超 (中国科学院南京天文儀器廠)
- A131 ドームレス太陽望遠鏡の Instrumental Polarization: 牧田 貢, 船越康宏 (京大理), 花岡庸一郎 (国立天文台野辺山)
- A132 活動領域 NOAA 5435 のサージ活動について: 河合吾郎, 黒河宏企 (京大理)
- A133 SDR AND MER DETERMINED FROM DIGITIZING RESULTS OF SUNSPOT SKETCHES: M. A. KAMBRY (東大理, 国立天文台, Indonesian National Institute of Aeronautic and Space (LAPAN))
- A134 SOLAR-A による太陽観測: 小川原嘉明, 他 SOLAR-A チーム (宇宙研, 国立天文台, 東大理, 立教大, LPARL, MSSL, RAL 他)
- A135 Solar-A/硬 X 線スペクトル計による観測: 大木健一郎 (国立天文台), 吉森正人, 高井幸夫, 森本幸司 (立教大)
- A136 γ 線天文台と 1991 年 6 月イベント: 舘目信三, 中島 弘, 崔 容碩 (国立天文台野辺山), H. ハドソン (UCSD), R. シュワルツ (GSFC)
- A137 On the Absolute Abundance of Ca in Solar Flares: Alphonse C. Sterling (CPI, 宇宙研), George A. Doschek (NRL)

休 憩

- A138 Eruptive Prominence の電波観測: 入交芳久 (東大理), 鷹野敏明, 柴崎清登, 中島 弘, 花岡庸一郎 (国立天文台野辺山)
- A139 電波バーストのスペクトルと指向性: 柴崎清登 (国立天文台野辺山), I. E. POGODIN (レニングラード大)
- A140 惑星間 II 型電波バーストの位置: 渡辺 堯 (名大 STE 研), D. Lengyel-Frey (NASA)

会場 B (3 階大会議室)

- B113 SN1987A の中性子星の表面はいつ見えるか?: 熊谷紫麻見, 野本憲一 (東大理)
 B114 Ia 型超新星 1990N の光度曲線: 山岡 均¹, 茂山俊和², 野本憲一¹ (¹東大理, ²Max-Planck-Institute für Astrophysik)
 B115 超新星での物質混合におけるリバースショックの役割: 山田良透 (京大理), 吉田龍生 (北大理), 田 光江 (通信総研)
 B116 大質量星における爆発的元素合成: 橋本正章 (九大教養), 辻本拓司, 野本憲一 (東大理)
 B117 低質量の進化とニュートリノ損失: 荒井賢三 (熊大理), 橋本正章 (九大教養), 野本憲一 (東大理)
 B118 矮新星の爆発現象の数値実験: 市川 晋, 廣瀬雅人, 尾崎洋二 (東大理)
 B119 近接連星系の前進する楕円形降着円盤の数値実験: 廣瀬雅人, 市川 晋, 尾崎洋二 (東大理)
 B120 Wolf-Rayet 星の質量放出モデル—Optically thick winds—: 加藤万里子 (慶応大, イリノイ大), I. Iben, Jr. (偉弁一考) (イリノイ大)
 B121 非断熱動径脈動モード間の 3 次の結合係数: 石田俊人 (西はりま天文台), 竹内 峯 (東北大理)
 B122 The Influence of nonadiabaticity and convection on the coupling coefficients: J. Zalewski (東北大理)
 B123 磁場内の輻射輸達方程式の数値解法: 竹田洋一 (東大理)

第 4 日 10 月 18 日 (金) 午後 1 時より 会場 B

(我々の銀河系)

- B124 オリオン領域における輝線星サーベイ V. 木曾天城 A-1047 および A-1048: 小暮智一 (京大), S. D. Wiramihardja (Bosscha 天文台), 小倉勝男 (国学院大), 吉田重臣 (東大理), 仲野 誠 (大分大教育)
 B125 銀河系の中心までの距離: 石田憲一, 岡村定矩 (東大理), M. Raharto (Bosscha Obs.)
 B126 SiO メーザー輝線による銀河系バルジの速度構造の研究: 泉浦秀行, 小野智子 (東京学芸大), 中田好一, 山村一誠, 尾中 敬 (東大理), 浮田信治, 出口修至 (国立天文台野辺山), 橋本 修 (成蹊大), 関口和寛, R. Catchpole (SAAO)
 B127 Galactic Warp の Kinematics: 宮本昌典, 鈴木駿策, 吉澤正則 (国立天文台)
 B128 銀河系は棒状銀河: 中井直正 (国立天文台野辺山)

(太陽系)

- B129 地球環境の力学系理論: 海野和二郎 (近畿大)
 B130 メキシコ日食におけるコロナ偏光観測: 田辺俊彦 (東大理), 磯部瑠三, 野口本和 (国立天文台), 谷 文明 (北大工), Manuel Alvarez (メキシコ国立天文台), 他メキシコチーム
 B131 The Lorentz Scattering of Dust Particles in the Circum-Solar Dust Band: A. Satheesh Kumar, 磯部瑠三 (国立天文台)
 B132 プラズマテイル内構造の運動と太陽風: 小塚幸央, 齋藤尚生 (東北大理), 沼澤茂美 (JPL)
 B133 火星極冠のモデル計算: 1. ダストの熱的効果: 鳴海泰典 (九州東海大工)
 B134 火星北半球の冬期における極雲の光学的厚さと極冠の大きさ: 赤羽徳英 (京大飛騨天文台), 岩崎恭輔 (京都学園大), 齋藤良一 (京大花山天文台), 鳴海泰典 (九州東海大工)
 B135 1990 年夏に発生した火星 antarctic zone の異常について: 海老沢嗣郎 (惑星物理学研)

休 憩

- B136 復活した南赤道緯の雲層構造: 佐藤毅彦, 川端 潔 (東理大理), 赤羽徳英 (京大理)
 B137 木星のミリ波干渉計による観測: 長谷川 均 (アステック), 石附澄夫 (東大理)
 B138 チヌランの不変数に見る短周期彗星と特異小惑星: 香西洋樹 (国立天文台)
 B139 オースチン彗星の 2 次元偏光マップとダストジェット: 中村 士, 佐々木五郎 (国立天文台), 岡村定矩, 青木

会場 A (ホール)

- A141 非線形境界層ダイナモの時間発展: 桜井健郎 (京大工)
 A142 磁束管内における対流不安定の時間発展について: 竹内彰継 (米子高専)
 A143 高周波太陽振動の連続および線スペクトルパワーについて: 尾崎洋二, 柴崎博資 (東大理)
 A144 太陽内部の音速分布: 柴崎博資 (東大理), S. Vorontsov (ソ連地球物理学研究所)
 A145 ねじられた磁力管の MHD 不安定性: 小出真路, 坂井純一 (富山大工)
 A146 A Theory of Filament Eruptions before the Impulsive Phase of Solar Flares: 坂井純一, 小出真路 (富山大工)
 A147 MHD 解析による太陽圏外構造の研究: 野沢 恵, 鷲見治一 (名大 STE 研)
 A148 浮上磁場の 3 次元モデル: 磁気シアアの効果: 柴田一成, 大矢 敦, 新里卓司 (愛知教育大), 松元亮治 (千葉大), 花輪知幸 (名大理)

ポスターセッション

- P 1 「天文学用語標準化の調査研究」第 6 次資料の問題点: 沢 武文 (愛知教育大)
 P 2 自己重力銀河円盤の力学的進化: 安富 允 (名大理)
 P 3 Box/Peanut-型バルジを持つ銀河の性質について: 大野 寛, 千葉征司, 谷口義明 (東北大理)
 P 4 標準模型における非線形減衰項の効果: 中原卓治, 田中靖夫 (茨城大教育)
 P 5 膨張する星からの回転による質量放出: 江里口良治 (東大教養), 山岡 均 (東大理), 橋本正章 (九大教養), 野本憲一 (東大理)
 P 6 回転楕円体状塵粒子による偏光 IV 散乱光における円偏光: 松村雅文 (香川大教育), 関 宗蔵 (東北大教養)
 P 7 Expanded Perturbation Method による CF と RF の定義: 伊藤 胖 (秋田大教育)
 P 8 1991 年メキシコ日食: コロナの構造について: 福島英雄, 西野洋平, 末松芳法, 宮崎英昭 (国立天文台)
 P 9 SUM 法によるコロナ画像: 沼澤茂美 (JAPAN PLANETARIUM LAB.)
 P10 F コロナ偏光測光観測用望遠鏡: 野口本和¹, 磯部瑠三¹, 田辺俊彦², 圓谷文明³, 金子幸男⁴ (¹国立天文台, ²東大理, ³北大工, ⁴神和光器)
 P11 1991 年 6 月の活動領域 (NOAA NO. 6659): 入江 誠, 山口喜助, 宮下正邦, 岡本富三, 田中伸幸, 一本 潔, 桜井 隆, 日江井栄二郎 (国立天文台)
 P12 バレリーナ・スカート回転反転の解析的表示: 竹内 仁, 斎藤尚生, 小塚幸央, 高橋忠利 (東北大理)
 P13 カラービデオによるフラッシュスペクトルの撮影: 佐藤 勲 (海上保安庁水路部), 富田弘一郎 (エー・イー・エス), 北崎勝彦 (海城学園中高校), 戸田雅之 (システム コンサルタント)

秋季年会にお

集 会 名	代表者	場 所	日	時
天文学とスーパーコンピューティング進展報告・討論会	近 田	B 会 場	10月15日(火)	17:30~18:30
光天連運営委員会	田 邊	206 号 室	10月15日(火)	18:00~20:00
内地留学選考委員会	学 会	206 号 室	10月16日(水)	12:00~13:00
I S O 連 絡 会	田 邊	101 号 室	10月16日(水)	12:00~13:00
天文教育者懇談会	高 橋	101 号 室	10月16日(水)	16:00~17:30
天文学の普及をめざして教育・研究者の集い	高 橋	101 号 室	10月16日(水)	17:30~19:30
V L B I 懇談会総会	川 口	リハーサル室	10月16日(水)	17:30~19:30

会場 B (3 階大会議室)

- 勉 (東大理)
 B140 彗星塵の 'fountain' model 再考: 石元裕史, 向井 正 (神戸大理)
 B141 木星捕獲軌道上の観測できない彗星について: 吉川 真 (通信総研鹿島), 中村 士 (国立天文台)
 B142 長周期彗星の熱史: 春山純一 (京大理, 宇宙研), 山本哲生, 水谷 仁 (宇宙研)
 B143 原始太陽系の力学的進化について: 島田正章, 稲垣省五 (京大理)
 B144 等方散乱 H 関数のノイマン展開係数を求める新計算法について: 柏野雄太, 佐藤毅彦, 川端 潔 (東理大理)

(3 階展示室)

- P14 「あじさい」の明るさの測定: 忽滑谷基, 麻生 大 (宇宙開発事業団), 栄楽正光 (宇宙研), 富田弘一郎, 根本しおみ (AES)
 P15 大宇陀観測所における望遠鏡及び観測装置の整備・開発: 富田良雄, 大谷 浩, 上杉 明, 吉田道利, 加藤太一 (京大理)
 P16 光ファイバの光学性能の測定: 能丸淳一, 唐牛 宏, 佐藤修二 (国立天文台)
 P17 HgCdTe 128×128 赤外線アレイの感度と非線形性: 廣本宣久, 高見英樹, 青木哲郎, 片墾宏一 (通信総研)
 P18 Si:P 中間赤外線検出器の開発 I 大久保省吾 (東海大工), 村上 浩 (宇宙研), 松本敏男, 度會英教 (名大理), 水谷耕平 (京大理)
 P19 IRTS 光学系の低温ハルトマンテスト: 八木豊児, 河野嗣男 (都立科技大), 芝井 広 (宇宙研), 尾中 敬 (東大理), 他 IRTS グループ
 P20 IRTS 搭載遠赤外線ラインマッパー (FILM): 開発結果: 芝井 広, 奥田治之, 中川貴雄 (宇宙研), 油井正生 (東大理), 松原英雄 (名大理), 他 IRTS グループ
 P21 IRAS 天体の 3.3 μm 分光観測: 周藤浩士, 水谷耕平, 舞原俊憲
 P22 変光星眼視観測データベースの完成: 清田誠一郎 (生物資源研究所), 西城恵一 (国立科学博物館), 他, 日本変光星観測者連盟 MIRA プロジェクトグループ
 P23 "Cold" HI Gas in the L1251 Region: 佐藤文男 (東京学芸大), R. J. Cohen, M. Shepherd (Nuffield Radio Astronomy Lab., Univ. of Manchester)

ける集案内

集 会 名	代表者	場 所	日 時
理論懇運営委員会	野 本	206 号 室	10月16日(水) 17:30~19:30
総合大学院大学への参加問題検討会	池 内	B 会 場	10月16日(水) 17:30~
光天連懇談会	田 邊	A 会 場	10月16日(水) 18:00~20:00
理論懇総会	野 本	B 会 場	10月17日(木) 12:00~13:00
臨時評議員会	学 会	101 号 室	10月17日(木) 12:00~13:00
理 事 会	学 会	101 号 室	10月18日(金) 12:00~13:00